

岩手の日本一 支えたい

アスレチックトレーナー山門さん(北上)

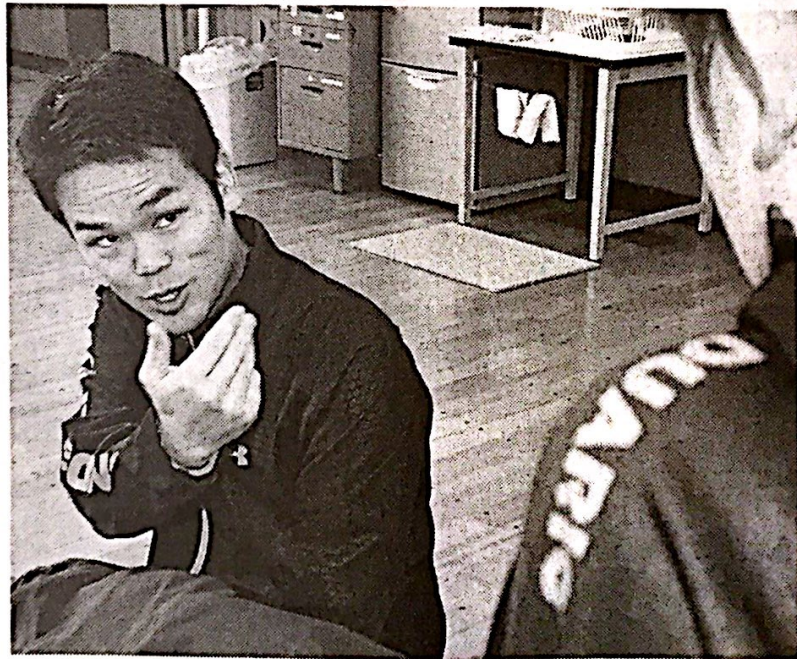
北上市常盤台の日本体協公認アスレチックトレーナー(AT)山門武志さん(31)は、2月にトレーニングジムを設立する。民間企業に勤めながら昨年の和歌山国体の本県卓球チームなどでATを務めてきたが、二足のわらじに限界を感じ「岩手国体では岩手を日本一に」と專業を決定。選手に寄り添う新たな道を歩みだす。

同市内の体育館で、コ 同チームの野田春輔監督と共に国体の卓球少年男子の選手に向き合い時間を設けることに抵抗があったが、けがを防止せず、指導した技術が身ぎ技術を習得しやすい体に付かない」と、腰や股に変わった」と効果を美関節の動きを相談した。 感ずる。

山門さんは、選手をし やがませたり片足立ちさせたりして扁平足を指摘。足首の可動域を広げるストレッチを指導し「腰が回らないのは股関節だけの問題ではない。原因をきちんと突き止めた。」と説明 した。 「国体に関わる仕事をした」と、休日は国体卓

国体前に專業決意

選手に足首の可動域を説明する山門武志さん(左)



来月、ジムを開設

球チームや専大北上高女子サッカー部のATとして活動してきたが、休日と試合日程が合わないことも多く、和歌山国体も

いう現状は自分の望みではない」と、專業やジム設立を考え始めた。昨年12月に熱意に共感する経営者と出会って、意気投合し、ジムの共同経営へ向け動きだした。ジムではスポーツ医学を基にした市民向けタ イエットプログラム競技者へのパフォーマンスプログラム、忙しい営 者への個別トレーニングなどを提供し、自由な時間を高校生らアマチュア選手の指導に当てる。

監督やコーチと選手の橋渡し役も務め、高い技術を身に付けられる体づくりのプログラム提案を目指す。